

西飯田ドッジボールクラブ ・リトルフォックス ワンツーフィニッシュ!



『第7回はかまつか杯オープン大会』がひたちなか市総合運動公園体育館で開催され、関東近県から36チームの小学生が出場しました。

一試合5分間と短時間の勝負が行われ、レベルの高いプレーに歓声が沸きあがりました。

激戦の結果、優勝は「西飯田ドッジボールクラブ」、準優勝は「リトルフォックス」と笠間市のチームが輝かしい成績をおさめました。

選手の方々は、「父母や卒業生からの大きな期待が一番の活力です。支えてくれるみんなに対する感謝の気持ちを忘れず、多くの仲間との交流を通じて、その絆を大切に守ります!」と、力強く話してくれました。



《優勝》西飯田ドッジボールクラブ



《準優勝》リトルフォックス

地区ソフトボール大会結果

第64回 笠間市民ソフトボール笠間支部大会
〔5月20日(日)笠間市総合公園多目的広場〕

優勝 箱田ソフト
準優勝 50BABY'S
第三位 香取ソフト

第13回 友部地区ソフトボール大会(春の大会)
〔5月20日(日)柿橋グラウンド〕

優勝 旭ヶ丘ソフト
準優勝 大沢サンライズ
第三位 住吉SAM
松山団地

第35回 笠間市岩間支部市民ソフトボール大会
〔4月15日(日)B&G岩間海洋センター〕

優勝 東宝ワカバ
準優勝 土師
第三位 柗山
第四位 吉岡二区



高齢者の事故防止へ“キラリリーダー”

5月25日、反射材着用推進リーダー(キラリリーダー)の委嘱式が行われ、笠間警察署長から笠間市高齢者クラブ連合会(藤枝好博会長)役員15人に委嘱状が手渡されました。

今年で2年目となるキラリリーダーは、高齢者の夜間の歩行中の交通事故を防ぐために、地域や高齢者クラブの集まりなどで反射材を配布し、併せて着用の重要性を説明することで活用の輪を広げる活動をしています。

反射材は、交通事故が多発する夕暮れ時から夜間にかけて、運転者に自分の「存在」を知らせることができ、事故の回避に重要な役割を果たします。地域の事情をよく知る高齢者クラブの役員ならではのキラリリーダー活動に期待が寄せられています。



委嘱式でのキラリリーダー

春季交流会



昼食会の様子

5月26日(土) 生き生き菜園はなさかで春季交流会が開催されました。

この交流会は、農園の整備や清掃、利用者同士の交流を目的に定期的に行われているもので、当日は青空の下、園内通路に雑草抑制のための木材チップ敷きや、草取りなどの作業に汗を流しました。

作業後の昼食会では、手作りのちらしずしやうどんが用意され、テーブルを囲んでの意見交換や、農園の専属指導員である片桐さんによる栽培に関する講義が行われました。

菜園もきれいになり、今から収穫が楽しみです。

※農園の利用者を募集しています。詳細は農政課(内線523)まで

「美しい日本語の話し方教室」を開催



大きな声で発声しよう

6月1日(金) 北川根小学校(常井一志校長)に「ライオンキング」や「サウンド・オブ・ミュージック」でおなじみの劇団四季の劇団員(井上隆司さん、一和洋輔さん、合田友紀さん)が講師として訪れ、聞き取りやすい日本語の話し方について指導しました。

「あいうえお」の母音をしっかり発音する大切さを理解するため、母音だけで発音する練習「おはよう」を「おおー(おはようの母音)」と発音するなど実践練習を行いました。最初は慣れない話し方に戸惑う児童達でしたが、練習後に子音を加えて話す発音がはつきりとし、自然と声量も大きくなってきました。最後に「友達はいもんだ」をはつきりとした日本語で大合唱しました。

道の市 (6/2・3)

道路が「交通」の場から、出展者と地元住民、訪れた人たちの「交流」の場へ、をコンセプトに開催される手作りこだわったイベント。

今年で開催9回目となる「道の市」。昨年は震災の影響で中止になり、2年ぶりに復活。全国各地から14店が集まり、陶芸品や木工など、作り手の思いがこもった作品が並びました。

ステージで行われたベリーダンスやバンド演奏などの他に、笠間高校美術課の生徒による自転車動力のろくろ体験や、大正時代に通りを走っていた「人車」のレプリカの運行などのイベントも行われ、訪れた多くの人々を楽しませていました。



自転車ろくろ体験の様子

行幸町わくわくフェスタ (6/2)

行幸町にかつての元気を取り戻そうと、町内会が丸となった開催。通行止めにした85mの区間を路上マーケットとし、地元新鮮野菜や笠間焼などの工芸品や雑貨、地元三ツ星レストランと称する飲食店など約50店舗が出店しました。

また、キッズダンス、アルパ演奏などのステージイベントに加え、笠間市社会福祉協議会による福祉体験や、子どもを対象としたスポーツ吹き矢、ビーズアクセサリー作りなどの体験コーナーも設置され、多くの子どもたちで賑わいました。

主催者は、今回の開催は活性化に向けて最初の一步。これから長く続けていきたいと話していました。



会場の様子

ま
ち
の
ひ
と
こ
ら
ま